

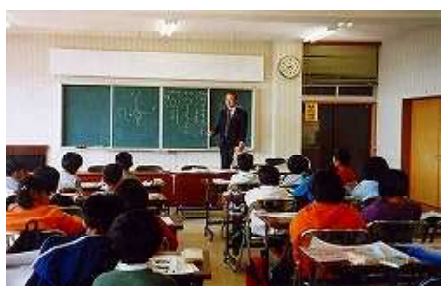
風に吹かれて地球を（天と地の間の人を訪ねて）歩く

* Personal History * Self-Introduction *

  			  		
★南欧紀行（天正少年使節団・上・中・下）			★未来メン ★ルーツ ★にんにく		
  	 		  		
★南米紀行（ペルー）	★若き画家が描く（米国）	★北欧紀行（スウェーデン）	★プロフィール	★LINE（友好）	★メロディー詩作
昭和46年04月 昭和46年07月 昭和50年05月01日 昭和52年04月01日	・麵と出会う。（2023年で52年目）：両親が島原手延そうめんの製造を開始 ・博多天神ライブ喫茶照和で演奏するリグビーに出会う。 ・音楽事務所作曲部に籍を置く ・クラリオン販売促進部（後の宣伝部・クラリオンガールは鳥丸せつこさん） ・九州陸上無線協会設立委員（九州電波監理局内：熊本市） ・Uターンにて商工会：ワープロ・パソコンと出会う、2023年で42年目 ・温泉神社ありえ夏越祭（16年間） ・中小企業庁・中小企業大学入校（創業支援大会で最優秀賞及び大学長賞受賞） ・工業統計調査員・第1回有家町産業祭・59年ばってん荒川さん・60年川中美幸さん				
平成02年04月01日 平成03年05月18日 平成09年04月01日 平成09年05月09日	・保育園保護者会長：有家町保育園保護者会連絡協議会の会長（5つの園） ・熊本県牛深市の旅館で街づくりで単独懇談（元NHK 鈴木健二氏）館長時代 ・各種補助事業をスタートさせる。18年までの10年間 ・有家町遺跡文化活用による街おこし事業をスタート（スペインとの交易）				
平成10年04月01日 平成10年10月21日	 ・地域後継者先進地視察研修（揖保・小豆島）・メンテック21創造開発会議 ・郷土の麵の匠である中川慶博氏が開発したハイブリッド輪状二層麵（異質麵帯の融合製品）をローマ教皇・ヨハネパウロ2世に献上、セビリア大聖堂に献上、スペインセビリア市長及び商工会議所会頭に贈呈。 ・天正遣欧少年使節の足跡を辿る旅（ヨハネパウロ2世ローマ法王に謁見）・銅版画「セビリアの聖母」を復刻してヨハネパウロ2世ローマ法王に献上、その後版画展がスタート・スペインセビリア市表敬訪問・イタリアキエーティ市表敬訪問、その後毎年、天正遣欧少年使節は派遣されている。				
平成11年04月01日 平成11年11月11日	・有家町技おこし事業スタート：有家町技おこしグループを組織 ・世界初の即席カップ冷やしそうめん開発（村おこし・技おこし・町おこし） ・即席カップ有家そうめん開発（あったか麵）池袋サンシャインコンにて記念発売 ・全国の賞を受賞・県知事表彰・町長表彰 ・有家町商工物産振興会の起業（合併まで）経営企画室兼開発室長				
平成13年06月01日 平成13年08月01日 平成13年10月01日 平成13年10月16日 平成14年11月01日 平成14年11月01日	・総務大臣より行政相談委員に委嘱 ・「あなたの意見が生かされる」のPC（パソコン）用ホームページを発信 ・南島原市くらしの総合行政相談所開設（第2・第4木曜日）夜に開催 ・むらおこし白書に掲載：官民一体となった手延そうめん振興事業への取り組み ・有家町産業祭りから第1回ありえ浜んこらまつりに名称変更 ・職場体験・総合的学習時間GT ・長崎県緊急雇用対策事業を受ける。（年間12名採用） ・有家町地域経済振興対策事業・有家町地域商業工業振興事業 ・海の記念にて（ハウステンボス迎賓館）行幸行啓産品（天皇皇后両陛下）に指定 ・ふるさと振興奨励賞：「地域産物を生かし顔の見える産地をめざして」				

平成15年01月25日	・南米にて食材調査・アンデス生物食文化研究所（ウルトラマカ・スーパーキヌア・アマランサス）：他には中国（北京・上海）・ベトナム・カンボジア・台湾・タイ・沖縄・北海道・東北・北陸にて食材調査
平成16年04月01日	・ありえ一店逸品蔵めぐりをスタート・長崎県商店街再発見支援事業（2年間）
平成17年09月01日	・有家町合併記念事業（長山洋子さん）
平成18年04月01日	・小規模事業者新事業全国展開支援事業をスタート：NHK・NBC・KTN・NIB・NCC・かぼちゃテレビ・ひまわりテレビ・FM島原の取材と放送 ・朝日新聞・長崎新聞・島原新聞・毎日新聞・西日本新聞に掲載 ・南島原市個人情報保護審議会委員（平成23年4月より委員長） ・日本オンブズマン学会に所属
平成19年09月11日	・特定非営利活動法人（NPO法人）「障害者自立支援センター」最高顧問 ・特定非営利活動法人（NPO法人）「障害者就労支援センター」相談役
平成20年04月01日	・西有家に配置転換・みそ五郎まつり（事務局 5年間）
平成21年06月07日	・北欧スウェーデン訪問：オンブズマン制度発足200周年記念式典 ・スウェーデン議会主催・カール16世グスタフ国王王妃ご臨席のもとストックホルム市庁舎・ブルーホールにての晩餐会に招待を受け出席
平成23年02月10日	・高校出前講座スタート（翔南高校・口加高校）
平成24年08月01日	・天正遣欧少年使節の足跡を辿る旅：ベネディクト十六世ローマ教皇に謁見 ・ポルトガル・エヴィラ市長表敬訪問・イタリアキエーティ市長表敬訪問
平成25年04月01日	・人権擁護委員に法務大臣より委嘱さる。
平成27年05月26日	・日本オンブズマン学会創立10周年記念書籍：「日本と世界のオンブズマン」に執筆。第一法規4070円（全国書店や通販にて）
平成27年09月11日	・アジアオンブズマン学会&研修会（東京京王プラザホテル・静岡）
平成28年06月17日	・人権研修：学校におけるパワハラとその対応 ハラスメント予防担当者（市内小中全校）：ありえコレジオホール
平成31年01月01日	・地域リーダー養成専任講師に就任（委員25名・大学教授等8名） 長崎県・広島県（中国四国管区）にて講演実施（以後コロナで中止）
令和02年12月02日	・人権講演講習会（長崎県立島原工業高校）7年目
令和03年02月02日	・総務省の高校出前教室（長崎県立翔南高校）12年目・長崎県立口加高校
令和04年04月01日	・スマホ用WEBサイト発信
令和05年04月～5月	・島原半島支部 代表：長崎行政相談委員協議会 会長再任
令和05年06月06日	・九州行政相談委員連合協議会 新連合会長
令和05年06月20日	・公益社団法人 全国行政相談委員連合協議会 全国より8名が運営理事者として選出され就任しました。

●総合的な学習の時間でのGT（ゲストティチャー）職場体験・職場訪問・地域の商工業

		
職場体験前のおはなし	グループにて職場訪問	地域の商業・工業のおはなし
◇出会った方々（抜粋）：タレントの山本華世さん・長寿食の日本の第一人者の永山久夫さん、ぱってん荒川さん、歌手の川中美幸さん、三沢あけみさん、北山たけしさん、長山洋子さん、ジェロさん、俳優の梅宮辰夫さん・元NHKの鈴木健二さん・梅沢富美男さんと劇団・吉本新喜劇劇団一行（桑原さん、浜さん）・漫才のオール阪神巨人さん、大木こだまひびきさんをはじめ多数、フォークの高田渡さん、遠藤賢司さん、三上寛さん、加賀良さん、因幡晃さん、NHK アナウンサーの森田洋平さん、NHK長崎の山本美穂さん、料理研究家の藤野嘉子さん、ブライアンバークガフニさん、宝塚宙組さん、モンゴル馬頭琴一団さん、世界と日本のオンブズマン、日本オンブズマン学会会員の各大学教授、市長・知事・弁護士、各分野の専門家、総務省や法務省の幹部や職員さん、新聞社、テレビ局、ラジオ局をはじめ多くの方との出会いがありました。縁に恵まれ、さらに幸運が重なりました。		

◆ 次世代に受け継がれる地域（まち）づくり ◆



「むらおこし」は、昭和58年に素麺をはじめ特産品の開発や農産物の販路拡大を目的に**有家町産業まつり**（現在のありえ浜んこらまつり）をスタートさせ、平成9年に販路を海外に求めて**有家町遺跡文化活用によるまちおこし事業**（スペインとの交易目的）をスタートさせました。

そして、県の貿易部門や日本貿易振興機構（ジェトロ）と調整をはかりながら、まず、有家町役場とスペインセビリア市役所に相互に職員を常駐させ特産品の普及する計画でした。同時期に**銅版画が復元**され、急遽ローマ法王に献上することとなりました。その銅版画は、**慶長2年（1597年）有家のセミノリオで学んでいた日本人画学生によって制作**されたもので、スペインのセビリア大聖堂内の15世紀末イタリア系後期ゴシック様式の壁画です。**銅版画「聖家族」**と共に明治2年（1869年）、プティジャン神父がマニラで入手し、ローマ教皇ピウス8世に献上した。教皇は、日本におくべきものとして、プティジャン神父に返し、大浦天主堂に収蔵されたのち今日に至っている。**版画によって、バチカンが父とすれば、セビリア大聖堂は生母である。**版画が「セビリアの聖母」と呼ばれる由来は、聖堂内に描かれた「アンティグア（古代）の聖母」という有名な壁画を模しているからである。**コロンブスもその壁画の前に跪き祈って航海に出たという。**因に、彼の墓はこの聖堂内に今も安置されており、壁画は500年前に描かれたとは信じられぬ新鮮な光を今も放っている。マニラで発見したプチジャン司教によって献上され、日本にとって貴重なものとして長崎に返された経緯がある。次に、「**わざおこし**」では、「即席カップ冷やし手延そうめん」の開発して、まず沖縄、平成11年11月11日池袋サンシャインコンにて記念発売した。全国・県・町より受賞。次に「**まちおこし**」は、全国展開事業を受けて「**ありえ一店逸品蔵めぐり**」をスタートさせたところ、各地より多くの人出があり、多くのテレビ・ラジオ・新聞・雑誌に取り上げられました。**このように、発案して自らの手で多くの事業やイベントをスタートさせました。次世代に受け継がれて、地域に即したものとして定着してきています。**

国際オンブズマン世界会議と晩餐会：スウェーデン



●スウェーデンストックホルム市庁舎●黄金の間（1800万枚以上の金箔）●専属カメラマン撮影提供



●晩餐会（青の間）の風景



●隣的女性に挨拶（真上）



●料理●365名の出席者名（冊子）



●挨拶の女性（右）



●晩餐会・乾杯（右下）

南欧の風に吹かれて

天正遣欧少年使節団の足跡を辿る旅とローマ教皇（法王）に謁見

●カステル・ガンドルフォ教皇公邸前のピアッツァ・デッラ・リベルタ（自由広場）で、教皇ベネディクト十六世に謁見。この旅は、平成9年に遺跡文化事業街おこし推進事業の事務局及び推進委員（スペインとの交易担当）として、両国相互に交易担当者を常駐させる計画で、ジェットロなど廻わり事業を推進していた。同時期に銅版画が復元され、急遽ローマ法王に献上することとなり平成10年12月21日からの訪問でした。だが諸般の事情にて参加できなかった思い出があります。

その模様は、1998年（H10年）12月23日、バチカン市国はパウロ6世ホールにて、ローマ法王ヨハネ・パウロ2世の壇上に上り持参した銅版画を手渡された。法王は、説明を聞き終えると、右手を版画の上にのせ、「ながさき ありがとう」とはっきりした日本語で労い言葉を言われたそうです。版画が「セビリアの聖母」と呼ばれる由来は、スペインのセビリア大聖堂内に描かれた「アンティグア（古代）の聖母」という有名な壁画を模しているからです。コロンブスもその壁画の前にひざまづき、そしてお祈りして航海に出たといひます。墓はこの聖堂内に安置されています。

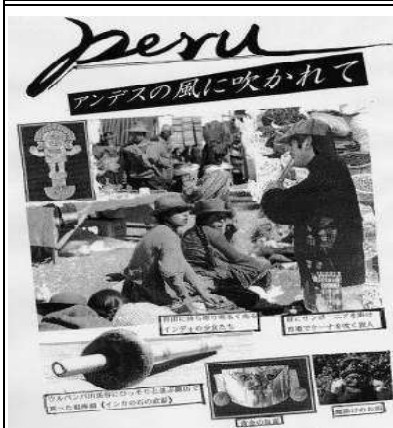
コインブラ市は、1139年から1255年までポルトガルで、国王ジョアン5世は、世界で3番目に古いコインブラ大学を開校している。大学敷地にある国王の名を冠した、このジョアニナ図書館は、1724年に建てられた。バロック調の外観とクラシックな大聖堂を連想させ見るものを魅了する。30万冊の蔵書、そして世界一美しい図書館と言われている。映画「美女と野獣」実写版のモデルにもなった。

エヴォラ（Évora）市は、ポルトガル南東部アレンテージョ地方にある町で人口は5万5千人で5kmの城壁で囲まれた町である。スペイン国境に近い。ローマ帝国時代からアレンテージョ地方の中心地として栄え、ルネサンスの時代には、大学もおかれた学芸の町で、1584年9月には、天正遣欧少年使節が立ち寄った町でもある。1986年 UNESCO の世界文化遺産に成っています。エヴォラ市長と副市長、ポルトガル特命全権大使の四宮夫妻と一等書記官の近藤さんが同席されました。

●南欧の風に吹かれては、南欧紀行(上)(中)(下)の「QRコード」にてご訪問ください。

			
ジョアニナ図書館	パイプオルガン	ガンドルフォ城の前広場	ヴァリニャーノ神父
			
ガンドルフォ城の前広場	パオン・デ・ロ（カステラの原型）	ホセ・エルネスト・オリベイラ市長	左がポルトガルの金平糖
			
ヴァチカン市国	先導する市警察の白バイ	歓迎レセプションローマ時代の遺跡の中で	

アンデスの風に吹かれて（長寿食材を求めての旅）



紀行文：アンデスの風に吹かれて



マチュピチュの遺跡



インカロマンピンク塩



キヌア入れ栄養価を高めた
即席カップ冷やし手延そうめん



カップ麺を食べてもらった



トトラの浮島ウロス島

地球上には不思議とくつろぎ、気が満ち、力がみなぎりパワーがもらえる場所がいくつかある。宇宙と自然（じねん）と自分との一体感の中で自分の魂が洗われてゆくことに気づく空間。ペルーにもいくつかの場所を感じてきた。古代より聖地や寺院や教会はそんな所に建っていることでもわかる。それはマチュピチュの遺跡を吹き抜けるアンデス風に魅せられ吹かれていると、耳を通して頭を駆けめぐる雨音と肌をさす風、朦朧とする意識（高山病）の中でも、**見はるかす地平の向こうに、幻かも知れない夢を求めて、また地球を歩き続けることにしました。**

ペルーは、世界の中でもっとも不思議で魅力的な国です。大部分の街が3～4kmの高地にあり独特の文明を受け継ぎ文化を創ってきました。国中を覆う赤茶色い日干し煉瓦の家、謎の中の謎を秘めたインカ帝国の遺跡、何の目的で描いたのかナスカ文明の地上絵、チチカカ湖の浮島で生活するインカの子孫、高地民族の心をあらわすアンデスの音楽と民族楽器、天にとどくような山並みが連なるアンデス山脈、**砂漠とジャングルと高原と海を持ち世界の気候の全てがあるペルー。**

地球上の生きるものたちが、楽しく長く生きられる食材宝庫のペルー。一度お出かけされることをお勧め致します。

インカの首都クスコは、3千3百mでアンデスの中央に位置し高度も中くらいで、じゃがいもやトウモロコシが収穫でき、これより高度な4kmではキヌアやマカの栽培やリャマやアルパカの放牧が行なわれ織物ができます。下山したアマゾンでは胡椒やコカを栽培でき木材も豊富です。西には豊かな海があります。このように登り下りしながら物々交換を行っており大帝国の礎と成っていました。このようにして**高度差を活用した大帝国の形成**をみたのです。一番の収入源であるアルパカやリャマは、4km以上にしか育たない高原の草を好むので、アンデスの民は家畜にあわせて住居を構え暮らしています。だが、彼らの主食であるジャガイモは、高度3kmまでにしか育たないんです。自然や動物と共に生きなければならない高原の厳しい生活があります。**ジャガイモは5千種以上**もあり、高原で作られている。夜間寒気にさらし凍らせ水分を抜き取って乾燥させて貯蔵可能にした**保存食品（チューニョ：現在のフリーズドライ製法）**を作り都市や国家を作るだけのエネルギーを貯蔵することができるようになった。**ジャガイモ、トマト、トウモロコシなどペルーが原産の野菜が多い。**

インカ帝国は、4kmを超えるインカ道を通って言葉を伝え、時には通信の石カガミも使っていたらしい。その総延長は4万キロに及んだという。古老が言うには「自然治癒力が向上し万能薬と言われるキャツクローは、薬効から見ると花が1番で葉が2番、樹皮は3番目である。花と葉は確保するのが難しいので見かけるのは樹皮ばかりである。**最近ブーム**成ってきた**インカの天然のバイアグラと呼ばれるマカは、素麺に入れるのではなくチップにして加薬に入れた方がよく。又、お茶漬の素に入れたら香ばしくて栄養価を高めるのではないかと意見を聞いた。**クスコの空港では、**ペルーの民謡のコンドルバス（コンドルは飛んでゆく）**で迎えてくれた。**チチカカ湖に浮かぶトトラの浮島ウロス島**は、8km²で琵琶湖の12倍近くありウル族で25程の島。夫婦、親子、兄弟間での争いがあつた時には、その島を分割してしまう。浮島に学校、教会、畑もある。欲しいものを背負わせると**願いが叶うエケコ人形を5体買った。**世界遺産のナスカの地上絵を見るためセスナの助手席に乗り込む。

●（PC版）南米紀行の全文は下記にてご覧いただけます。

<http://www.andes-wind.com/peru-1.html>





クスコの夕暮れ：農婦

アンデスの少女・高山病茶

インカの子孫の民家訪問

インカローズ



民謡：コンドルは飛んで行く

願いが叶うエケコ人形

スーパーキヌア

ウルトラ・マカ



●人生の道草しませんか！（入民村（いりみんそん）ふるさと探訪局）民話にひそむ音楽

あなたの町や村に古くより語りつがれた民話は、
幾世代を経て今、老人の心の片隅にわずかに残っているのにすぎません。

老人が子や孫に語りかけていたひととき

（縁先（縁側）で日なたぼっこして話してくれたひととき）

（寝つかれない子らに話してくれたひととき）が

今の生活には必要ないかのように、子供たちの心の中にスイッチひとつで入ってきてしまうようです。
このひとときの欠如で、語り場を失ったあなたの町や村の財産が消え去ろうとしております。

祖先の息づかいが直に伝わる唯一のものを子供たちの心に芽生えさせ、

そして生きづかせ貴い夢の文化財産を子供から、その子供へと

今、残してやりたく、お年寄りの（古老の）方を訪ねてまわっています。

西鉄福岡駅の新天町側に降りて左に行くと右にライブ喫茶「照和」が見え、地下に降りるとステージが目に入る。チューリップや海援隊などの前に演奏していた「**リグビー**」のリーダーと親しくなった。そこでは演奏して歌っても（当時はシンガーソングライターと言った。）ノーギャラだが、飲み物と食べ物提供された。照和に関係する人で井上陽水・チューリップ・海援隊・甲斐バンド・陣内孝則・CHAGEandASKA・永井龍雲・長渕剛さんたちがいたらしい。**フォークソング時代**は、**吉田拓郎**が「戦い続ける人の心を、誰もがわかってるなら、戦い続ける人の心は、あんなには燃えないだろう」と叫び、**小椋佳**は、青春が自分にはなかったと、まず「さらば青春」を作り、**南こうせつ**は「若かったあの頃、何も恐くなかった、ただ貴方のやさしさが恐かった」と、**さだまさし**は「運がいいとか悪いとか人は時々口にするけど、そういうことって確かにあると、あなたを見てそう思う」と母の人生を唄う。**伊勢正三**は「今はただ5年の月日が、長すぎた春と言えるだけです、あなたの知らない所へ、嫁いでゆく私にとって」と親のすすめに従って嫁いでゆくのです。**放浪木牧人**（ほうろぎまきじん）は「小さな自分が見える。」と叫んでいた。前後しますが上京して商社に勤務しながら音楽事務所に籍を置いた。依頼されるのは何故か演歌ばかりで1年でやめた。**東中野の古いアパートに住み、手ぬぐいマフラーにして銭湯に通って、風呂上がりには手を腰に当ててコーヒ牛乳を飲んでいて自分が見える。**

◆「小さな自分が見える」

1. ふるさとの丘に立ち今思うことは
あの夕焼けの向こうに僕の夢がある
空に浮かぶ白い雲も心をとぎす
はてなく広がる空は行けども広い
夢を求めて 羽ばたく小さな自分が見える
2. ふるさとの丘に立ち今思うことは
あの山の向こうに僕のなにがある
いま沈む暗い心もいつかは晴れるだろう
求める我らの幸せははてなく深い
夢を求めて 羽ばたく小さな自分が見える。
3. ふるさとの丘に立ち今思うことは
あの地平の向こうに僕の夢がある



- ◆初めて作曲した。ボロボロの52年前の楽譜で運良く残っていました。
- ◆題名は「小さな自分が見える」（詩は中学生より作っており、高校卒業前と思います。）
- ◆左上に昭和45年（1970年）と記載があります。

こみあげる光る涙も心をとぎす
はてなく広がる空は行けども広い
夢を求めて 羽ばたく小さな自分が見える。

◆「雑木の掛け橋」

村の娘が嫁ぐとき
必ず通る小さな丸太の橋
知らずして娘らが足を止め
水に映る我が身を眺め
遊んだ遠いあの日
何時か涙がせせらぎに落ちる

急かされて歩く足どり重く
母がこの橋を渡り終えたら
振り向くなと言った涙の声は
何時か耳を抜け
山々にこだまする

母に背おられ渡った幼い日
今度この橋をあの人と渡る

彼の元へ続く道も
遠くても疲れな
嫁ぐ日必ず渡り立ちすくむ
村の丸太の橋
娘は涙と一緒に流す
水の絶えない
村はずれの雑木の掛け橋

◆「冬じたく」

秋は自然と歩き
裾野を道連れに
沈黙づたいに歩かば
紅葉も使命は果さんか
降り散る衣は冬じたく

一面敷くは風の紅葉
みんじりともせずは

我が地の効用
あたり回らば
我が身回らんかな

行き交うも旅人と知らせめ
過ぎしも己と悟る
つまびらかに知り
記憶を引き下げ

沈黙づたいに歩かば
我が身回らんかな

秋は自然と歩き
裾野を道連れに
沈黙づたいに歩かば
紅葉も使命は果さんか
降り散る衣は冬じたく

●日本メロディ詩作人

できた詩に曲を付けるのはむずかしい。日本メロディ詩作人会をつくり同時に作るようになりました。

- 青春の時刻表
- そうめんの唄

●子どもが生まれたときに

◆我が娘（こ）へ

1. 春は君とレンゲ草の野原で会い
夏は日差しの中を二人歩く
秋は落ち葉を踏みしめ
寄り添う歩く
冬はいつまでも君を抱いて眠る



●ほのかな御堂筋

あの道 この道 あの娘と出会う道
銀杏の葉を 朝日が照らす
並木道に あらわれて消え
黒いコートが さみしさを誘う
ほのかな ほのかな ほのかな御堂筋
（後略）

大坂で自衛隊に体験入隊した頃作る

●博多 天神 恋の町

夢香る 夜の町で （後略）

●春が来ないのに冬が来る

この町で 君に会えたのに
今はふるえることはないんだよ
春が来ないのに 冬になるんだよ （後略）

●失恋

お空の雲を食べてたら
お日様が顔をのぞかせ
笑っている（後略）

●瞳の奥に

夕暮れ歩いた浜辺
ふたりの瞳
互いをうつし（後略）

●路面電車

並木の間をぬい
路面電車が走るよ
レールのきしむ音も
かろやかな眠りを誘う
流れる町並み（後略）

★転職時に購入。ギターケースにまでこだわった。

★愛知県尾張一宮の製糸工場で夏休みの2ヶ月間、毎日夜遅くまで働いてギター・ラジカセ・マイク・譜面台・PA機材など購入した。仕事が終わって日用品など購入で出かけるたび、よく職務質問された。



◇めん開発の歩み（・即席麺・機能麺・特殊麺）

◆初代 (第1号) 平成11年		◆2代目 平成11年		◆3代目 平成12年		◆4代目 平成12年	
◆世界初の即席冷やしカップ手延素麺 めざましテレビ・はなまるマーケット		◆有業そうめん音頭発表		◆旅行雑誌「るるぶ」など雑誌や 新聞に長期掲載		◆NHK総合テレビ25分間番組	
◆5代目 平成13年		◆6代目 平成14年		◆7代目 平成15年		◆8代目 平成17年	
◆全国の賞を受賞：池袋サンシャインシティにて		◆長崎県知事優秀賞受賞◆海の 記念日にて行幸行啓産品に指定		◆岩田屋出展（世界の有名店）（台 湾・香港・韓国・日本）		◆週間朝日「とりよせ便」に有名 な料理研究家が紹介	
							
◆山本華世さんもお薦め◆ナイトシ ャフルの番組で来町、ご好意により PR用に使用してきました。		◆袋めんの2代目・総合商社の 海外駐在員と家族・災害保存食 (非常食)にとの依頼		◆週刊朝日の「とりよせ便」に掲載 ◆長山洋子ショウにて新ラベル発 表。		◆要望が強かった即席手延うどん を発表	
							
◆インカの子孫の民家を訪ねて即席 麺の紹介		◆ローマ教皇献上品		◆ペルーからカップ麺が出来るま でをNHK 総合テレビで紹介		◆即席カップ手延うどん	
							
◆長崎県知事賞 海の記念日にて行幸行啓産品に指定							
◆受賞展示・即売 長崎市内百貨店		◆週間朝日「とりよせ便」 画期的な袋めんと評価		◆冷やしたらいそうめん ◆ハイブリッド輪状二層めん		◆特殊そうめん	
 ●永山 久夫先生：食文化史研究家：古代食、長寿食復元の日本の第一人者 ●縄文時代の料理、卑弥呼の古代膳、大友家持の万葉膳、小野小町の美容膳、紫式部の頭脳力向上食、北条早雲の長寿食、織田信長の天下とり膳、徳川家康の養生膳、宮本武蔵の無敵食など●30年前より親しくさせていただき、私が、国内及び海外から持ってきた長寿食材の情報を提供して、先生から全国紙の新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などで紹介してもらいました。島原手延そうめんは、日経新聞（全国版）、旅行雑誌、ラジオなどで紹介。先生は、書籍も多く「ためしてがってん」、「チョコちゃんに叱られる」などに出演。「長寿王国」http://100sai.jp/home.html 							
							
麺開発の歩み	ジャンボにんにく	ひょうたん	オンブズマン	人生の道草	ルーツ		